

平成24年度一般会計当初予算説明資料

8款 土木費

6項 住宅費

住宅政策課（内線：7398）

2目 住宅建設費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)鳥取県産材活用木造仮設住宅開発整備事業	2,666	0	2,666	1,332			1,334	
トータルコスト	5,080千円（前年度 0千円）							
主な業務内容	木造応急仮設住宅の設計、供給体制の構築							
工程表の政策目標（指標）	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

大型地震等の大規模災害の発生に備え、鳥取県産材を活用した木造応急仮設住宅を建築関係団体との協働により開発するとともに建築関係団体と災害時応援協定を締結して災害時における応急仮設住宅の供給体制を構築する。

2 主な事業内容

1) 木造応急仮設住宅の実施設計

鳥取エコハウスに使用する鳥取県産規格木材を活用した木造応急仮設住宅6坪タイプ、9坪タイプ、12坪タイプの3タイプの実施設計を行う。

タイプ	住戸形式	床面積
6坪タイプ	1DK	19.9 m ²
9坪タイプ	2DK	29.8 m ²
12坪タイプ	3DK	39.7 m ²

2) 応急仮設住宅の供給体制の構築

建築関係団体、製材関係者による検討会を設け、材料供給施工体制を検討、木造応急仮設住宅の供給に関する災害時応援協定を締結し、供給体制の整備を図る。

3 これまでの取組状況、改善点

- 平成9年度に社団法人プレハブ建築協会と災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定を締結。
- 平成12年の鳥取県西部地震の際には協定に基づき、社団法人プレハブ建築協会の協力を得て応急仮設住宅28戸を建設。
- 平成17年の智頭町市ノ瀬地区土砂崩落の際には、崩落対策工事が完了し安全が確保されるまでの間の応急仮設住宅4戸を建設し、うち2戸を県産材を使用した木造仮設住宅とした。